

骨粗鬆症リエゾンサービスを組入れた橈骨遠位端骨折患者の骨粗鬆症を治療する地域連携パスの効果に関する検証 —患者の意識変化と処方率・継続率の変化—研究

1. 研究の対象

2019年1月1日から12月31日の間に橈骨遠位端骨折により当院を受診した40歳以上の患者

2. 研究目的・方法

当院では2017年11月から骨粗鬆症リエゾンサービスを組入れた橈骨遠位端骨折患者の骨粗鬆症を治療するための地域連携パスを厚生局に届け出をして正式に運用している。この運用開始から2年が経過し、橈骨遠位端骨折患者の骨粗鬆症に対する意識がどのように変わったか、骨粗鬆症治療薬の処方率、その後の継続率どうか、などの点を調査し、当院が運用する橈骨遠位端骨折患者の骨粗鬆症を治療する地域連携パスの振り返りを行うことが目的である。

該当する対象者に橈骨遠位端骨折と骨粗鬆症との係わりに関する意識調査を行う。方法は、はがきに回答を記入していただく郵送法であるが、差出人の記名は求めず、個人を特定せずに集計する。また、アンケートに現在の骨粗鬆症治療薬使用の有無を加えることにより、既に実施した骨粗鬆症リエゾンサービスの効果も調査する。診療記録からは、骨密度測定結果、骨折治療時の骨粗鬆症治療薬処方の有無を調査し、骨粗鬆症治療薬の処方率、継続率を求める。

研究期間は、院長許可後2021年3月31日までである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：対象患者のカルテ番号から住所に関する情報を得る。また電子カルテより骨粗鬆症治療薬、骨密度測定など調査項目に沿った情報を得る。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 静岡県磐田市大久保5-1-2-3 電話 0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 整形外科 山崎薫